

令和6年度 岩手県立杜陵高等学校【本校】 経営計画

校長： 三田 正巳

1 校訓・教育目標	<校訓> 熱意 誠意 創意 <教育目標> (1) 自他の人格を敬愛し、心身ともに健全な人間の育成 (2) 自主自立の精神を持ち、社会に貢献できる人間の育成 (3) 自己の能力を伸ばし、学び続ける意欲を持つ人間の育成															
2 スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	【個性を活かして社会に自立する】 (1) 社会人として求められる基本的な知識・教養を育成する。 (2) 自分自身の特性を理解し、自らの能力を高めようとする態度を育成する。 (3) 日常生活に自ら課題を発見し、解決することのできる能力を育成する。 (4) 地域の一員として、協働して社会の発展に貢献できる人間力を育成する。														
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	【自ら進んで自律して学ぶ】 (1) 自分のペースに合った学習スタイルを選択し、着実に卒業を目指す。 (2) 単位制の利点を活かし、特性に応じた授業を選択し個性を伸張させる。 (3) 卒業後の進路を見据え、進学や就職等志望に必要な学力を身につける。 (4) 学校周辺をモデルに、社会人として地域社会に果たす責務を学修する。														
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	【学びに向かう意思を持つ】 (1) 本校の教育理念、教育システムを理解し、本人の意志で志望を決定した者。 (2) 授業や課外活動などに積極的に取り組み、自己の成長を図ろうとする者。 (3) 必要な自立心や自律性を有し、規律ある生活を送ることができる者。 (4) 本校で教育を受ける上で必要とする基礎・基本的な能力と適性を有している者。 (5) 心身ともに、健康な生活を目指していこうとする者。														
3 魅力化協働パートナー	岩手日報・フリーアナウンサー・岩手大学・商店街代表・フォトグラファー・NHK															
4 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">重点目標</th> <th style="width:50%;">達成指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 基礎基本の定着と学力の向上を図る（ICT活用を推進する）。</td> <td>・教科の授業内容が分かると答えた生徒の割合【80%以上】</td> </tr> <tr> <td>イ 人間性豊かな生徒を育成する。</td> <td>・自分に良いところがあると答えた生徒の割合【60%】</td> </tr> <tr> <td>ウ 基本的生活習慣の確立を図る。</td> <td>・(定時制)出席率【80%以上】 ・(通信制)単位修得率【80%以上】</td> </tr> <tr> <td>エ 安心安全な学校づくり、いじめ等の未然防止に努め、校内教育相談体制の充実を図る。</td> <td>・高校生活に満足と答えた生徒の割合【80%以上】</td> </tr> <tr> <td>オ キャリア教育を充実し、生徒の進路希望の実現を図る。</td> <td>・希望する進路目標を達成した生徒の割合【90%以上】</td> </tr> <tr> <td>カ 人権尊重の理念を認識し、生徒が安心安全な学校生活を送れる体制の確立</td> <td>・安心して学校生活を送ることができる答えた生徒の割合【80%以上】</td> </tr> </tbody> </table>	重点目標	達成指標	ア 基礎基本の定着と学力の向上を図る（ICT活用を推進する）。	・教科の授業内容が分かると答えた生徒の割合【80%以上】	イ 人間性豊かな生徒を育成する。	・自分に良いところがあると答えた生徒の割合【60%】	ウ 基本的生活習慣の確立を図る。	・(定時制)出席率【80%以上】 ・(通信制)単位修得率【80%以上】	エ 安心安全な学校づくり、いじめ等の未然防止に努め、校内教育相談体制の充実を図る。	・高校生活に満足と答えた生徒の割合【80%以上】	オ キャリア教育を充実し、生徒の進路希望の実現を図る。	・希望する進路目標を達成した生徒の割合【90%以上】	カ 人権尊重の理念を認識し、生徒が安心安全な学校生活を送れる体制の確立	・安心して学校生活を送ることができる答えた生徒の割合【80%以上】
		重点目標	達成指標													
		ア 基礎基本の定着と学力の向上を図る（ICT活用を推進する）。	・教科の授業内容が分かると答えた生徒の割合【80%以上】													
		イ 人間性豊かな生徒を育成する。	・自分に良いところがあると答えた生徒の割合【60%】													
		ウ 基本的生活習慣の確立を図る。	・(定時制)出席率【80%以上】 ・(通信制)単位修得率【80%以上】													
		エ 安心安全な学校づくり、いじめ等の未然防止に努め、校内教育相談体制の充実を図る。	・高校生活に満足と答えた生徒の割合【80%以上】													
		オ キャリア教育を充実し、生徒の進路希望の実現を図る。	・希望する進路目標を達成した生徒の割合【90%以上】													
	カ 人権尊重の理念を認識し、生徒が安心安全な学校生活を送れる体制の確立	・安心して学校生活を送ることができる答えた生徒の割合【80%以上】														
	(2) 取組方針	ア 生徒個々の目的や課題、困り事に対応した教育の実践と教育相談の充実 (ア) 生徒の困り事の情報共有し、関係課の指導の充実を図り、早期発見と解消に向けた適切な対処を行う。 (イ) 個々に寄り添った丁寧な対応を継続する。 (ロ) 特別支援学校のセンター機能の活用と外部関係機関との連携を図る。 (ハ) 特別支援教育に係る校内研修会を実施し、情報共有と指導の充実を図る。														
		イ 社会に通用する総合生活力と人生設計力を基盤とする生きる力の育成 (ア) 個々の習熟度や困り感を把握し、生きる力を育成する指導を実践する。 (イ) 「学習評価」の研究を進めるとともに、自己有能感・有用感を醸成する。 (ロ) 社会人としての総合生活力（豊かな人間性・健康な体・確かな学力）の育成を図る。														
		ウ 明朗な学校生活と生活指導による人間形成の充実 (ア) 生徒主体の教育活動を推進し、充実した学校生活を送るとともに自己肯定感を醸成する取り組みを実践する。 (イ) 学生として、また、社会人としての節度ある言動と品位ある生活態度を確立し、自立して行動できる人材を育成する。 (ロ) 生徒に目標を持たせ、個々の実態を把握しながら就労を勧めるなど、職業観・勤労観の醸成を図る。														
		エ いじめが起きにくい学校・学級の風土づくり（未然防止） (ア) コミュニケーション活動（他者との関わり）を通して、各自の個性を認めることができるようになることを目指す。 (イ) 生徒の生活状況や行動をより注意深く観察し、行動等の変容について教職員間で情報共有し、いじめ等の未然防止を目指す。														
		オ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築 (ア) 全教職員が子どもの権利条約等への理解を深め、生徒の人権を尊重した指導を行う (イ) 不適切な指導についての研修を行い、コンプライアンス意識を醸成する														

